

枕崎



特集

がんばる
商店街



市民運動会綱引き競走
今年の優勝は『岩崎公民館』



▲秋の市＆キャンドルフェスタ実行委員会の様子

11月24日のいいふしの日に、枕崎市通り会連合会が主催する「まくらざき秋の市＆キャンドルフェスタ」が開催されます。この催しは、空き店舗の増加、後継者不足等により賑わいが失われつつある市内商店街の活性化を図ろうと、既存の通り会に、通り会のない桜山、金山、別府地区もそれぞれ通り会と銘打って参加し、初めて開催されるものです。

テーマは「なつかしの昭和レトロ調横丁」。昔ながらのたたずまいが残る折口市場や折口通り一帯が会場となります。

「折口レトロ露店街」では、各通り会による出店ブースやなつかしの玩具・駄菓子の販売、紙芝居が行われるほか、「昭和レト



活気を取り戻すため立ち上がった

通り会連合会発足

活気が失われつつあった市内商店街。そんな中、「市内の11通り会が互いに協力し合い、そして枕崎を盛り上げていこう」と平成22年11月に枕崎市通り会連合会は設立されました。

しかし設立当初は、各団体から集められる会費のみの収入で資金がほとんどない状態でした。そんな中で「一体何ができるんだ?」と、特にこれといった活動もできない状況で、活気を取り戻すために様々な考えを巡らせていました。そんな時、県内の商店街グルメナンバーワンを決める「Show-1グランプリ」への参加の誘いを受けたのが2年前のことでした。

これが「枕崎鰐船人めし」誕生のきっかけであり、連合会として初めての大きな取り組みとなりました。



11月24日に開催される
秋の市の会場となる折口市場

以前は店が立ち並び、賑わいを見ていた商店街しかし、次第に空き店舗は増え、後継者不足などによりその賑わいを失いつつあります。その状況を開拓し、商店街の活気を取り戻そうとする取り組みを今回取材しました。



枕崎小学校6年生による「集団行動」

選手宣誓は金山校区の大園義哉さん

第45回市民運動会が10月20日、
塩浜運動場で開催されました。
当時は秋空のもと、43公民館から
25のプログラムに延べ4850人の市民が参加。競技は綱引き競走や玉入れ、ゲートボールやグラウンドゴルフ、今年復活した百足競走など、子どもたちからお年寄りまで楽しめる種目で参加者はさわやかな汗を流しました。

また、枕崎小学校6年生による「集団行動」では、98人の児童たちは一糸乱れぬ動きに、会場からは惜しみない拍手が贈られました。

最終種目の公民館対抗リレーでは、出場選手たちが熱戦を繰り広げ、各公民館のテントからは大きな声援が送られていました。

秋空のもと 笑顔とさわやかな汗 ～第45回市民運動会～



PROFILE
1942年生、桜山西町。志布志市出身、39年間教員を務め、退職後、枕崎市教育委員に就任、2010年からは教育委員長を務める。また、読み聞かせボランティアグループ「ブータンの会」を2007年に設立し、各学校などで読み聞かせ活動を行っている。

わが町の を訪ねて ロマネス句

エンターテイナー“ちゃんサネ”さんが枕崎にゆかりのある人を訪ねインタビューし、ようよう一句ひねります。

file.17

受け継がれていく 「お話し」

読み聞かせボランティアグループ
「ブータンの会」代表

久木田 弘子さん (71)

手製のカレンダーにびっしりと公の活動内容が書き入れられるのを見た、取材で訪ねた私たちを驚かせたご夫婦、先月の人久木田征男さんの奥様、久木田弘子さんにお話を伺った。

「私たちのボランティアグループ『ブータンの会』は、60歳以上の方々の集まりです。市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校で、読書推進の時間が設けられていて、それを地域の人たちでサポートしようということで、私たちも活動をしています。また、話し相手がない老人のケア目的で、グループホームやデイサービスをしている施設に、月にだいたい15ヶ所を回っています」と久木田さん。加えて以前から続けていらっしゃる川辺の神殿小学校での読み聞かせもされているそうだ。月の後半の10日間には、講演の依頼が飛び込んでくることもあるそうで、なるべく予定は空けるようしているとのこと。

久木田さんは、教員を退職後、教育委員に就任され、子どもたちの教育はもちろんのこと、大人のための文化的社会奉仕にこれがけの時間と労力を注いでいらっしゃる。そのバイタリティーと献身の意志にはまことに頭が下がる。

あるグループホームでのことばあちゃんが、じつとうつむいた姿勢で私の読み聞かせを聞いてくれ、終わったときには一生懸命

の拍手をしてくれるんです。普段ではない方なんですね。ところがお話し好きで、しっかりと聞いてくれるんです。さらに今度は、私にお話をしてくれるんです、昔の話を自分が住んでいた街の話や戦時中の戦闘機が襲ってきたときの話、園見岳の防空壕に避難するまでの詳しい話とか。お話をしたいんですけど、普段会わない人に。そのときは「読み聞かせの人」ではなく、「聞き伺いの人」になってしまふのです。そのおばあさん、あとで知ったのですが91歳でした。話を聞いているとき、また話をすらうときの生き生きとしている様子がとてもお若いのです。普段どうがって変わるので」と久木田さんはうれしそうに話す。

ほかにも、昔の水揚げ場の魚が道路まで溢れかえるほどだったところの話をしてくれるとお年寄りもいいうことで、話を聞き、話をすると

「私たちの読み聞かせの時間があって、その時その特別な時間を若返り、喜んでくれる方々がいることを知るたびに、この活動をしていて本当によかったなあと思うんです。みんなに『読み聞かせ』をさせていた、だいてありがたいなあとつくづく思います」と久木田さんはしみじみと語った。

「どういったきっかけで語り部になられたんですか」と尋ねる

お二方は

(唱) 男女参画の
録ちゃん
話やソヒコンコツ

のないままに長くしまわっていた。そうだが、私は録音し、CDに収めてお返しすることで、実際に味のあるご尊父の肉声に心打たれたお返しが少しだけ出来た気がする。

レコードは再生するプレイヤーのないままに長くしまわっていた。その名前は林猪藤次さん、お話をかけてもらいました。とても温もりがあつて、のちのちへずっとと受け継いでいきたいですよね。それが人の大事なものだと感じ続けていたんです」と語られた。

その名前を聞いて驚いた。お父様の名前は林猪藤次さん、お話を見ててくれ、「父がまさに語り部さんだったんですね。いっぱい聞かせてもらいました」と語られた。

その後半やや上に小さな白い点が一つあります。よく目立つ。釣りや定置網、刺し網などで漁獲される。料理法を選ばない高級魚。刺身は味が良く見た目もきれい。ムニエルなどバターとの相性もいい。先日、水高生がシブダイを釣りあげていた。リュックのサイドポケットには醤油のペットボトル。思わず写真を撮ってしまった…

枕崎漁港に水揚げされるうんまか旬の魚を紹介します!

シブダイ(フェダイ)
嶋ではフェダイの仲間をシブダイと呼ぶ。かつて、グルメ漫画に幻の魚として紹介されたことがある。ダイビング実習で深く潜ると海底近くで見かける。「笛鯛」の和名は、口が前に突き出て口笛を吹くように見えるから。生きている時は胴体



シブダイ(フェダイ)

枕

嶋ではフェダイの仲間をシブダイと呼ぶ。かつて、グルメ漫画に幻の魚として紹介されたことがある。ダイビング実習で深く潜ると海底近くで見かける。「笛鯛」の和名は、口が前に突き出て口笛を吹くように見えるから。生きている時は胴体

の後半やや上に小さな白い点が一つあります。よく目立つ。釣りや定置網、刺し網などで漁獲される。料理法を選ばない高級魚。刺身は味が良く見た目もきれい。ムニエルなどバターとの相性もいい。先日、水高生がシブダイを釣りあげていた。リュックのサイドポケットには醤油のペットボトル。思わず写真を撮ってしまった…

解説
鹿児島水産高校
町頭 芳朗 教諭
1963年生、千代田町出身、鹿児島大学水産学部大学院を修了後に同校教諭。スクーパダイビングを得意とする。枕崎カツオマイスター検定講師



きのこごはん

食
歳の時記
まくらざき味探訪

今日は、秋の味覚「きのこ」をふんだんに使った「きのこごはん」をいただきました。水野さんは健康にとても気を付けているそうで、食事の面では、日頃から旬の食材を取り入れるようにしています。

食材にも気を遣う水野さんは、野菜も育てていて、自宅から離れた所にある家庭菜園では、様々な野菜を栽培してお

り、お母さんや子どもたちと一緒に世話を収穫をするのが何よりの楽しみだそうです。

健康のため」と、5年前に始めたヨガも、すっかり夢中になりました。

ここまで健康に気を付けるようになったのはお母さんのようになります。

本当に感謝しています」と笑顔

で話す水野さん。今日もみんなの健康を想いながら料理を作ります。

尊敬する母から教わったこ

とを子どもたちにたくさん伝えていきたいですね。母には本当に感謝しています」と笑顔

で話す水野さん。今日もみんなの健康を想いながら料理を作ります。

尊敬する母から教わったことを子どもたちにたくさん伝えていきたいですね。母には本当に感謝しています」と笑顔

で話す水野さん。今日もみんなの健康を想いながら料理を作ります。

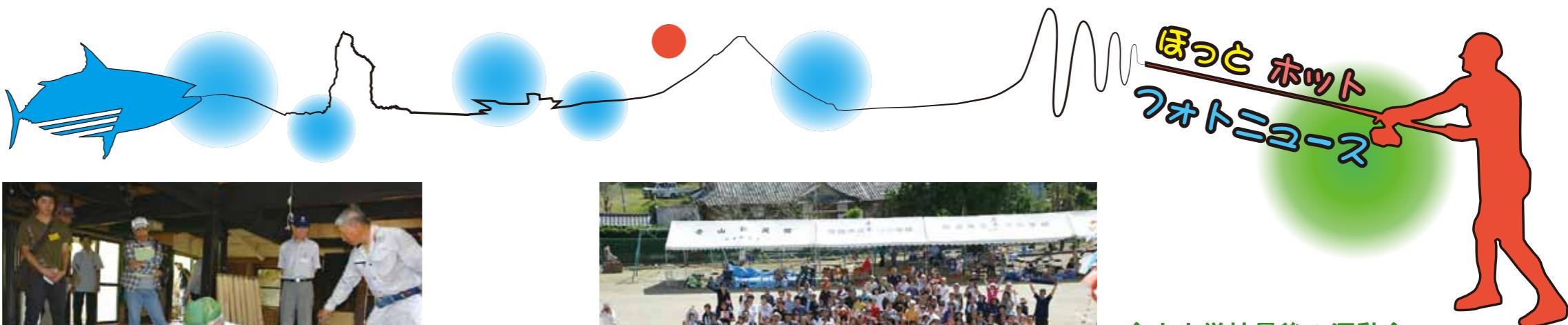


解説

鹿児島水産高校

町頭 芳朗 教諭

1963年生、千代田町出身、鹿児島大学水産学部大学院を修了後に同校教諭。スクーパダイビングを得意とする。枕崎カツオマイスター検定講師



市観光協会が
火之神公園を清掃



全日本のテニス選手権で優勝

■10月6日から9日の期間に名古屋市で行われたティジン全日本ベテランテニス選手権45歳以上女子ダブルスの部で、宮原祥子さん(千代田町)が優勝しました。



全国地域安全運動出発式

■10月11日から20日までの全国地域安全運動期間に先立ち、10日に枕崎小学校で出発式が行われました。地域安全モニターや少年警察ボランティアなど約200名が参加しました。



枕崎市シルバー人材センター
ボランティア清掃

■10月はシルバー人材センター事業普及促進月間でした。10月16日、片平山公園や市営立神墓地など市内4か所で会員によるボランティア清掃が行われました。



空き家の現状や利用法を学ぶ ～空き家活用塾～

空き家の現状や、改修技術などを学ぶ「空き家活用塾」が木口屋集落で開催されました。

9月8日から10月14日の間に4回に分けて行われたこの塾は、県のNPO共生・協働・かごしま推進事業の一環として、南薩地域の過疎化、少子高齢化による空き家の増加という地域課題に対応するため行われたものです。

参加者は講師のマエノ住建の方々の講義を受けた後、実際に工具を手にし、空き家の改修技術を学びました。

4回の講習に全て参加した吉井幸太朗さん(枕崎高2年)は、「実際に改修をすることができる楽しかった。家でもできることがあれば実際にやってみたい」と話していました。

11月からは耕作放棄地問題に対応するための講習会が予定されています。詳細は15ページに掲載されています。



今年もおいしい焼酎できました ～オリジナル焼酎「天地一杯」～

地元のPR活動に取り組む店舗などの有志でつくる「まちの駅南薩ブロック連絡協議会」のオリジナル焼酎「天地一杯」の仕込み作業が9月24日、薩摩酒造株式会社でありました。

原料となるサツマイモは、同会員が植え付けから収穫まで行ったものです。当日は会員10人が、麹に水と酵母を加えて混ぜ合わせた1次もろみに、細かく碎いたサツマイモを入れて混ぜ合わせる2次仕込みの作業を行いました。

天地一杯は12月1日から市内のまちの駅加盟店で限定800本販売の予定です。お楽しみに。



①来場者全員で記念写真を撮影 ②同級生の名前が書かれた旗を掲げリレーに参加する卒業生 ③懸命にプレーする児童たち

金山小学校最後の運動会

～閉校記念金山小学校・金山校区秋季大運動会～

10月6日、今年度末をもって閉校する金山小学校と金山校区の秋季大運動会が同校で行われました。今回の運動会には、桜山小学校の児童たちも運営や競技に参加するなど、総勢約400人の参加者がいました。

18人の児童たちは「全力 協力 あきらめない」のスローガンのもと、応援合戦やリレーなど一生懸命プレーし、その姿に来場者からは惜しみない拍手が贈られていました。

また、「さよなら金山小聖火リレー」には、同校の卒業生など約100人が参加し、さまざまな演出で運動会を盛り上げていました。

今年度優勝した、白組応援団長の鮫島聖貴くん(6年)は「たくさん的人が来てくれてとても緊張したけど、優勝できてうれしいです」と話してくれました。



そらべあ発電所を寄贈

～立神保育園そらべあ発電所寄贈式～

立神保育園に太陽光発電設備「そらべあ発電所」が寄贈され、9月30日に同保育園で寄贈記念式典が行われました。

この発電所は、再生可能エネルギー普及啓発を主に活動しているNPO法人そらべあ基金(東京都)の「そらべあスマイルプロジェクト」によるもので、子どもたちに環境の大切さを学んでもらうと同時に、CO₂を排出しない再生可能エネルギーの創出・普及を目的に取り組まれてあり、今回の寄贈は、ソニーマーケティング株式会社の協賛により行われました。

この発電所は、全国で40基が設置、県内では立神保育園が初めての設置で、園舎の屋根に整備されました。



文化の風 南から

枕崎の芸術・文化の各分野で活躍している方々のエッセイを毎月紹介します。

「ホンモノ」にこだわるあまり地元ではじめない現実に葛藤日々を繰り返しています。それでも、多くの皆さんのお力を添えをいただき、鹿児島市を拠点に、現在県内で5つの教授所を運営しております。

「正しいことは美しい」と厳しく指導にあたり、数年前から全日本バレエコンクール女子全部門で上位入賞者を輩出する教室として広く業界の皆様に認知していただいている。ここ枕崎在住のジユニアにも、後に続くであろう生徒が出てきていることはうれしい限りです。

クラシックバレエは身体を駆使した総合芸術。日本人の骨格はクラシックバレエには向きではありませんといわれます。そのため欧米の子どもたちより、はるかに多くの必要とします。その訓練と鍛錬をして長い期間の訓練、鍛錬を必要とします。

クラシックバレエは身体を駆使した総合芸術。日本人の骨格はクラシックバレエには向きではありませんといわれます。そのため欧米の子どもたちより、はるかに多くの必要とします。その訓練と鍛錬をして長い期間の訓練、鍛錬を必要とします。

が強みになり、精神性を高め、正確かつ情緒豊かな芸術を生み出せるのも日本人ならでは。緻密と言られた日本人気質の変化が危惧される中、私の務めはただ一つ。「正しいことを伝えつつ、それを貫く強さを子どもたちに指示すること」。

合理化をよしとする現代に生み出された子どものたちは、理不尽であり苦行以外の何物でもないでしょう。この苦行を受け入れ、いかに貫けるかに身をさらす強さが垣間見えるのは、稽古を始めて10年ほどたつころでしょうか?この瞬間から子どもたちは、季節の花がほころぶように、芯から美しく進化していく

長い長い時間をかけて四足歩行から二足歩行に進化した人類、そのうえに点で立つことを強いられ、片足ダンサーは最も進化した人類と評されます。クラシックバレエには正確な基礎力、超人並みの技術力、それらを基盤として表現する芸術性が求められます。不向きといわれる日

本人の10代でこれらの基礎を身に着けるダンサーの卵たちの精神力は並々ならぬものとご想像いただけると思います。

キヤリア1年の生徒も20年を超えるダンサーも、同じバーレンスンという基礎たるお稽古を繰り返し行うのがバレエ。出来るようになる喜びの一方でキヤリアを重ねるごとに、正しく行うことの難しさと直面します。同じバレンスンを長年繰り返す中で、分かっていたつもりでも分かっていないだけの愚かさを知り、見えなかつたものが見えるようになり、気づきがたりたい、正しいことを知りたい、正しいことをいかに貫けるかに身をさらす強さが垣間見えるのは、稽古を始めて10年ほどたつころでしょうか?この瞬間から子どもたちは、季節の花がほころぶように、芯から美しく進化していく

難しさと直面します。同じバレンスンを長年繰り返す中で、分かっていたつもりでも分かっていないだけの愚かさを知り、見えなかつたものが見えるようになり、気づきがたりたい、正しいことを知りたい、正しいことをいかに貫けるかに身をさらす強さが垣間見えるのは、稽古を始めて10年ほどたつころでしょうか?この瞬間から子どもたちは、季節の花がほころぶように、芯から美しく進化していく

正しいことは美しい

川留 美智子(48)
かわとめ・みちこ
鹿児島市在住。1998年よりバレエ教室「あーとかんぱにい」を開設。同時に枕崎でも教授所を開設。全国バレエコンクールでの上位入賞者を多数輩出するとともに、自身も指導者として多数の賞を受賞するなど活躍中。



▲市民会館でレッスンをする子どもたち

お便り紹介

毎月届けられる市報がとても楽しみです。女性にも読みやすく、たくさんの情報のためになる情報、食の歳時記など大好きです。県外にいる娘にも送っています。これからも期待しています!! (妙見町・52歳女性)



クイズ!

今月のプレゼント
焼酎「天地一杯」(3名様)
【提供】まちの駅南薩プロック連絡会

●兼題「おはぎ・ぼた餅」

ふだもつも にしめも家ごと 味違い
スイーツも 頭負けじやらい
おはぎには
ぱた餅 おはぎ
焼酎ん塩氣に
月ん上がり ひちやえだボタモツ
もちづきの萩か牡丹か
もちづきの萩か牡丹か
ウサギ餅つ
兔に訊かむ
(歌) 秋の望づ
ぱた餅
月ん上がり
もちづきの萩か牡丹か
ウサギ餅つ
兔に訊かむ
(歌) シメンなコダなち
娘が加勢来い
歌りちゃんさん

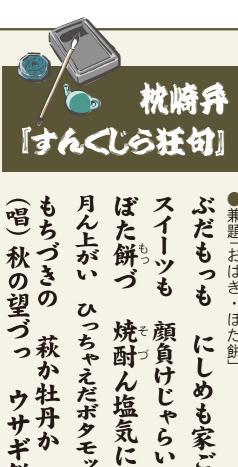
今年もまた
ナニコレ?ち
ヤボん頃な
あせ道の
つめんしに
うかぜばつた
花火じやつど
選ばれもせん
登録されだ
ど根性アコウ
リレー走
(アイディア賞)
(アメボケさん)
(キミタノ)
(子ども)
今年もまた
ナニコレ?ち
ヤボん頃な
あせ道の
つめんしに
うかぜばつた
花火じやつど
選ばれもせん
登録されだ
ど根性アコウ
リレー走
(アイディア賞)
(アメボケさん)
(キミタノ)
(子ども)

「情熱」とかけてなんとなく、「放蕩息子」となく、そのこころは?
※右下左下に答へ
■来月号の兼題は「さむらい士」、投稿は総務課秘書広報係TEL72-1111 FAX72-9436

クイズ!

■今月も先月に引き続き、カツオに関する問題です。
鰯節にまつわる言葉は色々と専門用語や枕崎ならではの方言も多くあります、「かっこくで」とは、ずばり次のうちどれでしょうか。
①鰯節を燻す部屋 ②鰯節削りの際にできる碎片
③鰯節につくカビ ④鰯節削り器の刃

[先月の答え] ①南下する鰯



枕崎弁
すんくじら狂句

今年もまた
ナニコレ?ち
ヤボん頃な
あせ道の
つめんしに
うかぜばつた
花火じやつど
選ばれもせん
登録されだ
ど根性アコウ
リレー走
(アイディア賞)
(アメボケさん)
(キミタノ)
(子ども)

「情熱」とかけてなんとなく、「放蕩息子」となく、そのこころは?
※右下左下に答へ

■来月号の兼題は「さむらい士」、投稿は総務課秘書広報係TEL72-1111 FAX72-9436

拡散する視点 2013

枕崎駅の「かつお節行商の像」、「山幸彦像」を制作した彫刻家の田原迫華さんら3人のアーティストによる現代舞踊とピアノ演奏とデッサン絵画作成の実演で、それぞれ単体では難解と思われがちな芸術表現を共演する総合舞台です。
●出演 七感弥広彰(ダンス)、河合拓始(ピアノ)、田原迫華(デッサン)
●日時 11月16日(土) 開場 午後2時30分 開演 午後3時
●会場 南湧館(第2展示場)
●入場料 前売券 一般2,500円(当日3,000円)、高校生以下1,500円(当日2,000円)

南薩地区秀作展 ~第68回南日本美術展から

鹿児島市で開催される第68回南日本美術展から川辺・指宿地区関係作家の作品を展示します。初日には作品鑑賞トークも行います。
●会期 12月1日(日)~15日(日)
※作品鑑賞トークは午前10時30分~
●会場 南湧館(第1展示場)
●観覧料 無料

■臨時休館のお知らせ
収蔵作品の燻蒸作業のため、11月11日(月)~15日(金)は休館します。

南湧館 イベント情報

開 9:00 ~ 17:00
※入館は 16:30まで
休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問 TEL72-9998

MOA美術館児童作品展

MOA美術館(静岡県)主催の全国児童作品コンクールで入賞入選した南薩地区的子どもたちの絵画、書道の作品を展示します。
●会期 11月19日(火)~24日(日)
●会場 南湧館(市民ギャラリー)
●観覧料 無料
●表彰式 11月24日(日) 午前10時~、南湧館(第2展示場)

■謎掛けの答え: やがて感動勧当を招きます。

新刊紹介



●愛ふたたび
渡辺淳一(著)
○りんごはいくつ?
よねづゆうすけ(作)

注目本

- グラウンドの詩/あさのあつこ(著)
- 七色の毒/中山七里(著)
- ちひはち/エドワード・ギブス(作)
谷川俊太郎(訳)
- カブトムシ山に帰る/山口進(著)

●一般書 ○児童書

ホームページに、すべての新着本の情報を掲載しています。ぜひご利用ください。
※図書館内掲示板(玄関前)、1・2階カウンターの新着本リストでもすべてご覧いただけます。

「ホンのそこまで世界旅行」

世界の国情報2013
リブロ(出版)

2013年3月までの日本を加えた195カ国・4地域を紹介。面積、人口、対日輸出入額、在留日本人などの情報を掲載する。

女三人のシベリア鉄道
森まゆみ(著)

ウラジオストクからモスクワ、パリまでの鉄道を完乗。現地の人々の声に耳を傾けながら、旧社会主義国の重い歴史を感じます。

IDカード貸し出しを開始!

市立図書館では、本の貸し出し業務の効率化を図るために、10月1日から貸し出しシステムを導入しました。

貸し出しには、新しい利用者カードが必要になります。新たな申請が必要となりますので、カウンターにて登録の手続きを行ってください。ご不明な点はお気軽に尋ねください。

市立図書館 72-9254
ホームページ http://library.makurazaki.net
★開館時間 9:30~18:00

カレンダー 11月10日~12月9日

日	月	火	水	木	金	土
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7
8	9					

休館日
● おはなしのへや 午後3時~
(絵本と紙芝居の読み聞かせ)

